

特集

中部学院のボランティア活動

ぎこ清流大会・国体／東日本大震災復興支援より

研究室から①

発達障害児者の相談、支援

別府悦子 子ども学部 子ども学科 教授

研究室から②

「つなげる食育」を実践

菊池啓子 短期大学部 専攻科 准教授

12月20日(木) クリスマス礼拝・祝会 開催(関キャンパス)



中部学院のボランティア活動

ぎふ清流大会・国体／東日本大震災復興支援より

今秋、岐阜県で開催された「ぎふ清流国体」「ぎふ清流大会」。学生らは「心配り」「気配り」を大切にしながら、選手の皆さんを温かく迎えました。また、東日本大震災からの復興を目指す東北地方に、今年度も学生や教職員がボランティア活動を展開しました。



写真／ぎふ清流大会に出場する選手の皆さんをお出迎えるために、フラッグなどを作成した選手団サポートボランティアの学生＝関キャンパス



表紙／ぎふ清流大会で選手団サポートボランティアに参加した学生

中部学院大学報
2012
vol. 28
2012年10月発行

Chubu Gakuin
University & College News

CONTENTS

〈発行：大学報編集委員会〉

特集 03 中部学院のボランティア活動 ぎふ清流大会・国体／東日本大震災復興支援より

- 06 研究室から①
発達障害児者の相談、支援
別府 悦子 子ども学部 子ども学科 教授
- 07 研究室から②
「つなげる食育」を实践
菊池 啓子 短期大学部 専攻科 准教授
- 08 キャリアサポート
 - ・社会福祉士 39人合格
 - ・精神保健福祉士 合格率75.0%
 - ・理学療法士 合格率95.6%
 - ・人間福祉学部 福祉系就職率全国2位
 - ・学内しごとの相談会 ほか
- 10 保護者の皆さんへ
後援会総会・保護者懇談会を開催
- 12 トピックス
福祉・介護の相談室、情報発信拠点「神田町サロン」オープン ほか
- 13 講演会
ブータン王立大学 ペマ・ティンレイ副学長が来学、講演 ほか
- 14 部・クラブ・サークル紹介
〈ピックアップ〉吹奏楽部 県コンクールで金賞
- 15 ぎふ清流国体 出場選手 躍動
今後の行事
 - ・12月20日(木)クリスマス礼拝・祝会 開催(関キャンパス)
 - ・2013年3月22日(金)卒業式(長良川国際会議場) ほか

選手を温かく出迎えサポート

ぎふ清流大会・国体でボランティア活動



9月から10月にかけて、岐阜県内で行われた「ぎふ清流国体」「ぎふ清流大会」では選手団サポートボランティアをはじめ、岐阜県選手団役員や競技補助員など総勢約600人がサポートにあたりました。

「選手団サポート
ボランティア」
県内最多の473人が参加

ぎふ清流大会で選手のお出迎えや介助、誘導を担当した「選手団サポートボランティア」は県内最多となる473人が参加しました。人間福祉学部1、2年(全員)、同相談援助コース3年、子ども学部1、2年(全員)、リハビリテーションシヨン学部1、2年(全員)、短期大学部社会福祉学科1年(全員)の学生は、選手が訪れた11日から活動を開始。公式練習(12日)、開会式(13日)、競技会(13、15日)、閉会式(15日)、離県する16日のお見送りまで6日間にわたり、陸上やフライングディスク、アーチェリーの67選手団(47都道府県・20政令指定都市)の選手の皆さんへのサポートにあたりました。

「ボランティアをしながら
選手との交流を深める」

健康福祉学科2年の石原宏希さんは「ハンドeiのある選手との交流を通じて、座学とは違う経験を積むことができました」、サークルで手話を学んでいる同学科の古川友子さんは「選手の皆さんに気持ちよく過ごしてもらえるように、専門分野の勉強を生かしてがんばりました」、短期大学部社会福祉学科の高木佑美子さんは「選手一人にボランティアとして同行したので、名物や文化、方言など岐阜の魅力を知ってもらえるようにお話をすることを心掛けました」と話していました。



毛布などを運び、介助などにあたる学生＝岐阜市、長良川競技場



選手や他大学の学生と交流する選手団サポートボランティアの学生＝岐阜市、長良川競技場



ぎふ清流大会「フライングディスク競技」で競技補助員を務める学生＝関市、グリーンフィールド中池

47年に一度、この時に輝いて

サポート・ボランティアの取り組み

ぎふ清流大会が盛会裏に閉幕し、関係各位や学生たちの取組みに心から感謝申し上げます。

本学での取組みは、2年前の12月「ボランティア養成



人間福祉学部
宮嶋 淳 准教授

成実行委員会」から本格的にスタートしました。岐阜県からの要請は「6日間350人の派遣」であり、私たちは戸惑いを覚えませんでした。しかし、山口大会やリール大会、応援グッズ作りを経て、大会は現実味を帯びていきました。私の役割は、「学生にその気になってもらう」ことであ

り、過去の大会のDVDや養成テキストを活用し、あることに「声と顔を出す」ことに努め、「ぎふを代表する人・もの・名物」を皆で共有しました。この大会の合言葉の通り、サポート&競技補助ボランティアを通して、学生たちも「主役」になれたのではないのでしょうか。そして、「主体的に参加する」意義を理解し、ボランティアや市民活動への一歩を、いまこの時に、味わってくれたのではないかと思っています。

応援タペストリーでお出迎え

全国から訪れる選手を歓迎



おもてなしのフラッグを手に選手団を迎えました＝羽島市、JR岐阜羽島駅



新幹線のホームで選手が到着する時にフラッグで出迎えました＝同

選手団サポートボランティアは、選手の皆さんを温かく迎えようと、おもてなしフラッグや応援グッズを製作しました。フラッグは縦90センチ横120センチと縦横60センチの2種類で約160団体分。ミナモとともに「よ

うこそ「ファイト」などメッセージを添え、カラフルに描きました。フラッグは、選手らがJR岐阜羽島駅などに到着した時に広げて歓迎したり、競技会場に飾ったりしました。

被災地でシャボン玉を飛ばした学生たち

昨年の大震災から1年半が経過した2012年8月27日～30日、幼児教育学科2年生5名が岩手県三陸沿岸の津波被災地でボランティア活動をしました。幼児教育学科の「あそびすと」「あそびスター」として、子どもたちにあそびを提供してきた学生たちは、現地調査を続ける教員と相談し、岩手県宮古市内の保育所など4園でシャボン玉あそびを提供することになりました。



シャボン玉の魔法に注目!

被災地の空にシャボン玉を飛ばした彼女たちは、子どもたちに寄り添う先輩保育士に温かく迎えられ、励まされ、子どもたちとの交流もできました。また被災地の惨状を目の当たりにし、人々と触れ合う中で様々なことを感じたようです。

「震災を人ごとのように感じていたことが恥ずかしい」「人生で最高の経験になった」「今までよりも、もっと強く保育士になりたいと感じた」などと語る学生たちの瞳は眩しく輝いていました。(幼児教育学科准教授 伊藤龍仁)



シャボン玉の5人娘
(左から)米倉瑞季、山内彩加、名和瞳、平井里奈、末廣結花
岩手県宮古市
小山田保育所、千徳保育所、藤原学童保育所、田老児童館にて実施

硬式野球部が震災地で少年野球教室

8月12日、硬式野球部は東北遠征の初日に宮城県石巻市に行き、震災地の子どもたちと70名の部員が、野球を通じた交流活動を行いました。石巻市門脇小学校、渡波小学校とも津波の被害のため校舎がボロボロになり仮校舎で授業をしています。



全員集合して開始の挨拶＝宮城県石巻市、門脇小学校

門脇小学校では、午前中は小学生とグラウンドの草取りやゴミ拾いをして荒れたグラウンドを整備した後、午後からはノックやキャッチボールなど笑いの絶えない楽しい野球教室ができました。

門脇小学校の壊れた校舎には「門小ガッツ・僕らは負けけない」、渡波小学校には「思いやり・がんばり・よく考える渡小っ子」の標語があり、震災に負けず元気に活動をしていました。部員からは「小学校の皆さん貴重な体験をありがとうございました。このボランティアで勉強したことを活かしていきたい」との感想をもらいました。



野球教室での指導風景＝宮城県石巻市、渡波小学校

研究室から—1

生まれつきの脳の機能障害が原因である発達障害。その支援や研究の取り組みに焦点をあてます。



子ども学部 子ども学科
別府 悦子 教授

Etsuko BEPPU
大阪府出身。東京学芸大学大学院連合学校博士課程を修了、博士(教育学)を取得。臨床心理士、学校心理士ほか。



※写真と相談は関係ありません。

(※1) Attention Deficit / Hyperactivity Disorder
= 注意欠陥・多動性障害
(※2) Learning Disabilities = 学習障害

「子どもの思いを大切にしながら、決して諦めず、希望を持つことを伝えていきたい」。障害児心理学が専門で臨床心理士でもある子ども学部子ども学科の別府悦子教授は、滋賀県をはじめ、岐阜県内の多くの自治体や通園施設で、発達相談員として、子どもたちや保護者を支援してきました。また、本学人間福祉相談センターでは、保護者に加え、保育者や小中学校の教員、施設職員など専門職への助言も行っています。

ADHD^(※1)、LD^(※2)などは発達障害と言われています。生まれつきの脳の機能障害が原因で、保育園や幼稚園、学校や社会などでコミュニケーションがうまく図れず、生きにくさを感じる子どもがいます。例えばADHDでは、じっとしていられず席を立ったり、物事に集中できなかったり、思いついた行動を突発的にとるため友達とトラブルになることがあります。こうした発達障害の子どもたちや青年たちの数が増え、支援の必要性が高まっています。しかし、「子どもたちのさまざまな行動を周囲が理解し、適切な援助を行うことで、子どもたちは『大丈夫』と思えるようになります」と強調します。

相談や実践に関わる中で得られた知見を研究にまとめ、2011年、発達支援の先進的な研究で知られる東京学芸大学から博士(教育学)を授与されました。子ども学部子ども学科では、保育士と社会福祉士の両方を取得できる「発達支援コース」で、より専門性の高い子どもの発達支援の専門家を養成することに力を注いでいます。また、発達障害のことをよく理解した小学校教員や保育士、幼稚園教諭の育成にも取り組んでいます。

研究会で悩みの相談にのったり、活躍ぶりを聞いたりすることが「楽しみ」と言います。また、社会人の研究生や聴講生、岐阜県教員の研修制度を利用して、別府教授に師事して学ぶ人も多く、心理の仕事に就いたり、心理士の資格を取得したりすることも応援しています。

子ども学部に魅力の3コースが誕生しました！

- 子どもたちの先生になる！
「子ども教育コース」
- パパママたちのお手伝い
「保育・子育て支援コース」
- 子どものこころに寄り添う
「発達支援コース」

詳しくは入試広報課まで

研究室から—2

米粉に着目しながら、生涯食育社会の実現に向けて取り組んでいる「つなげる食育」にフォーカスします。



短期大学部 専攻科
菊池 啓子 准教授

Keiko KIKUCHI
岐阜市出身。福山女学園大学家政学部食物学科卒業。同大学院生活科学研究課程修了。食に関する研究活動を行っている。



生活していく上で欠かすことのできない食事。日本は古来、食と自然とのつながりを大切にしながら、健康を意識した食文化を育んできました。しかし、近年、食の多様化、欧米化などにより、私たちの食生活は乱れています。そのため、生涯食育社会の実現に向けて、「つなげる食育」をテーマに、実践教育を行っています。

学2学部3学科、短期大学部2学科1専攻科で食に関する講義を担当しています。が、切り口は「子ども」「高齢者」「スポーツ」などさまざま。人間福祉学部健康福祉学科の「スポーツ栄養学」の講義では、「スポーツ栄養は○○○○だ」というアセスメントシートを使い、課題を分析しながらダイエットを重ねていきます。受講しているのは体育教員や健康運動士を目指す学生。スポーツ選手の食事を追究していくと、自分自身の食事の採り方に問題点があるのを知る学生が多いといえます。「子どもや高齢者など人と関わる仕事に就きたいと考えて進学してきた学生に、まず本人がしっかり食についての意識を高

めることを第一として、徹底して伝えていきたい」と話します。また、「日本人の食バランスを取り戻すために、米粉の利用を広げたい」と、アレルギーや生活習慣病をはじめ、現代におけるさまざまな食と健康の問題について、日本の主食である「米」、特に米粉に着目し、その可能性を探りながら、食バランスの確立を目指した研究を進めています。ベトナムでは、米粉からできたライスペーパーやフォー(麺)などの加工品をはじめ、米を蒸したり、おかゆにしたり、おやつで食べるなど、米と密接に関わる日常の食文化があり、衝撃を受けたといえます。「ベトナムは食べ方が豊富

また、副菜などに野菜を添え、肉や魚は少なめで、非常に均衡した食事が採れています。日本ではパン食などが進み、バターやマヨネーズなども一緒に摂取するようになり、食のバランスが大きく崩れています」と語ります。米粉を使い、現代のスタイルに合わせた食の提案はできないだろうかというニュー開発に力を入れているほか、東日本大震災が発生して以降、被災者向けの米粉食品の開発にも力を注いでいます。「米粉を軸として、幼児、高齢者、障がい者などライフステージや状況に応じた食の提案を考えています」と話し、「日本の米は世界でも最上級といえます。プライドを持った上

キャンパス内でインスタントラーメンや揚げ物など偏った食生活を送っている学生を目的の当たりにし、「将来、保育者や介護福祉士を目指す学生に『食育』をしっかり伝えて社会に送り出さないといけないという使命を感じるようになりまし

た。現在、大

で、自分にあつた食べ方を見つけてほしい」と話します。学生には「発想の転換を図り、固定概念だけでなく、いろいろな可能性を考えて、現場で生かしてほしい」と期待を寄せています。

専攻科から保育士資格をお持ちの社会人の皆さんにお知らせ

2016年1月から国家試験を受験しないと、介護福祉士を取得できなくなります。

2014年度までに専攻科(福祉専攻)に入學すれば、**1年の通学で介護福祉士(国家資格)を卒業と同時に取得できます!**

安心できる手厚い奨学金 最大57万円を支給

幅広い進路選択 就職率100%を継続

詳しくは入試広報課まで

順位	大学名	学部名	就職率	順位	大学名	学部名	就職率		
1	私	新潟医療福祉大学	社会福祉	99.4	21	私	関西福祉大学	社会福祉	93.0
2	私	中部学院大学	人間福祉	98.4	22	公	山口県立大学	社会福祉	92.7
3	公	岩手県立大学	社会福祉	98.0	23	私	九州保健福祉大学	社会福祉	92.5
4	私	岐阜聖徳学園大学	教育	97.3	24	私	一橋大学	社会	92.4
5	私	東京福祉大学	社会福祉	96.9	27	国	岐阜大学	地域科	92.4
6	私	金城大学	社会福祉	96.5	27	私	関西福祉科学大学	健康福祉	92.4
7	私	東北女子大学	家政	96.2	27	国	福井大学	教育地域科	92.3
8	私	聖隷クリストファー大学	社会福祉	96.1	27	私	東北福祉大学	子ども科	92.3
9	国	和歌山大学	観光	95.9	30	私	岐阜女子大学	家政	92.3
10	私	白梅学園大学	子ども	95.8	30	国	宇都宮大学	教育	92.2
11	私	群馬医療福祉大学	社会福祉	95.5	30	国	東京大学	教育	92.2
12	国	名古屋大学	経済	95.4	30	私	東京福祉大学	教育	92.2
13	私	岐阜大学	教育	95.0	33	国	鳴門教育大学	学校教育	92.0
14	私	福山平成大学	福祉健康	94.5	33	公	岩手県立大学	総合政策	92.0
15	公	静岡県立大学	経営情報	94.3	35	国	神戸大学	国際文化	91.8
16	国	一橋大学	商	93.7	35	公	宮城大学	食産業	91.8
17	公	国際教養大学	国際教養	93.6	38	私	畿央大学	教育	91.8
18	私	日本社会事業大学	社会福祉	93.6	38	私	北陸学院大学	人間総合	91.5
19	私	北海道文教大学	人間科	93.3	39	国	名古屋大学	法	91.3
20	私	椋山女子学園大学	教育	93.2	39	国	和歌山大学	教育	91.3

*大学通信がまとめたもので、今春の就職データをもとに、就職率を「就職者数÷(卒業者数+大学院進学者数)×100」で算出。

卒業生における地域別・学部系統別就職率ランキングで、全国2位の就職率を記録しています。また、昨年度まで文部科学省の学生支援推進プログラムで、「進路決定率100%、進路満足度100%の確立」をテーマに、キャリアサポートを進めてきました。キャリアセンターでは「希望のところに、その職場で働くためのサポートを提供しています」と話しています。

キャリア支援の取り組み

集団討論の対策講座 ホテルを会場に開催

公務員や教員、保育者などを目指す大学4年生、短期大学部2年生(専攻科を含む)を対象にした面接試験対策講座を4月28日、岐阜市の岐阜都ホテルで開催しました。約90人の学生が本番さながらの緊張感が漂う中、集団討論のシミュレーションなどに臨みました。



「仕事と人生」卒業生キャリアフォーラム

「卒業生キャリアフォーラム」を7月16日、関キャンパスで開催し、学生は先輩から就職活動の心構えなどを聞きました。在学生からは「自分が何になりたいのか、しっかり目標を決め、やるべきことを続けていきたい」など前向きな姿勢がうかがえました。短期大学部は後期に開催します。

「学内しごとの相談会」就活前に仕事の理解を深める

キャンパス内に介護や福祉、幼児教育や保育、児童福祉などの施設関係者、人事担当者が集う「学内しごとの相談会」を行っています。大学4年、短期大学部2年、専攻科の学生を対象に、夏には介護、福祉、保育などの分野において、本格化する就職活動を前に仕事の理解を深めるため、秋には職場とのマッチングを前提に開催しています。また、冬には大学3年(短期大学部1年)の学生を対象に企業説明会を開催する予定です。



人間福祉学部
文系就職率 全国2位(2012年3月卒業生)
週刊東洋経済、サンデー毎日、週刊エコノミストで紹介
 2012年3月の卒業生における地域別・学部系統別就職率ランキングで、全国2位の就職率を記録しています。また、昨年度まで文部科学省の学生支援推進プログラムで、「進路決定率100%、進路満足度100%の確立」をテーマに、キャリアサポートを進めてきました。キャリアセンターでは「希望のところに、その職場で働くためのサポートを提供しています」と話しています。

キャリアサポート

さまざまなキャリアサポートをはじめ、**国家試験対策講座**を実施し、資格取得のための支援を行っています。



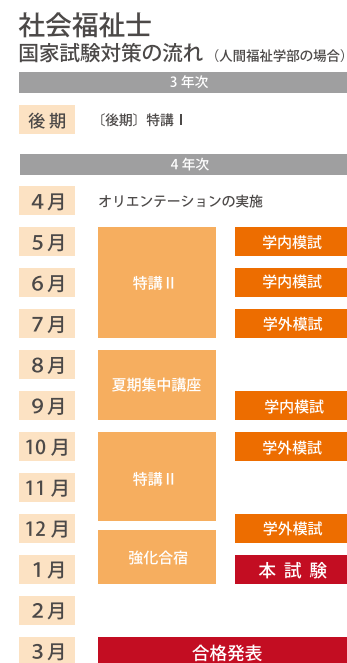
第47回理学療法士国家試験(2011年度)は、全国合格率が82.6%と厳しい状況の中で、本学の合格率は新卒受験者95%、既卒受験者100%と健闘しました。10年度の全国合格率は過去最低の74.3%(本学86%)を記録。内容変更と既

理学療法士
合格率95.6%(全国平均82.6%)

「慌てず 焦らず 諦めず」をスローガンにグループ学習



国家試験合格を目指して、グループ学習などで切磋琢磨しながら勉強に取り組む学生



第24回社会福祉士国家試験(2011年度)の結果が3月15日に発表され、本学は社会福祉士39人(合格率35.5%、全国平均26.3%)、精神保健福祉士21人(合格率75.0%、同62.6%)が合格を果しました。そのうち、16人は社会福祉士、精神保健福祉士にダブル合格しました。人間福祉学部、子ども学部との連携による学習と年間を通じた講座の取り組みによって成果をあげました。

社会福祉士 39人合格
合格率35.3%(全国平均26.3%)

精神保健福祉士
合格率75.0%(全国平均62.6%)
 16人がダブル合格



社会福祉士・精神保健福祉士試験合格に向けたオリジナルの講座に参加し、ステップアップを図る学生

通信講座 (7月~12月)

国家試験対策通信講座は、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験の合格を目指す学生、本学卒業生、通信教育部在学学生(※1)を対象に開講しています。通信講座は自宅で取り組む「練習問題」をベースにしながら、必要に応じてスクーリング(※2)を選択して受講することが可能です。7月に基礎講座(2回)、8月から10月にかけて夏期講座(8回)、11月から12月に直前講座を行い、年末には通学課程との合同の強化合宿にも参加できます。

※1 本学科目等履修生は審査の上、受講を認める場合があります。※2 授業時間は9:00~18:40の第1限から第6限まで

後援会総会・保護者懇談会を開催

6月2日、関キャンパスで後援会総会・保護者懇談会を開催し、約220名の保護者の皆さんに参加いただきました。後援会総会・保護者懇談会は、保護者との連携を図り、学生一人ひとりの個性と課題に応じた、きめ細かな教育を行うことを目指しています。



クリスタルホールから後援会総会会場へ

後援会総会

後援会総会は、中部学院大学 岡本健学長、中部学院大学 短期大学部 片桐多恵子学長のあいさつで始まり、後援会新役員の紹介の後、五島一夫後援会長の議事進行により、事業報告、決算・予算報告を行いました。後援会新役員は次の皆さんです。1年間よろしくお願ひします。

- 会長 五島 一夫
(新任・人間福祉学科4年)
- 副会長 廣瀬 勝典
(新任・健康福祉学科2年)
- 副会長 篠田 智子
(留任・社会福祉学科2年)
- 監事 屋宜 くる美
(留任・人間福祉学科3年)
- 監事 田中 みどり
(新任・幼児教育学科2年)



三上教授より大学の学生育てについて

今年度から後援会総会は、議事を短縮して、中部学院の学生育ての現状についての時間を設けました。

中部学院で夢の実現を！

大学の学生育て

リハビリテーション学部
三上章允教授

初年次教育では、新入生ができるだけ早く大学の環境に適應できるよう支援します。高校までの受身の学習から、大学では自ら進んで学業を修め、積極的に学ぶことが求められます。そのため、少人数ゼミでの演習で、大学の講義についていくためのノートの取り方、レポートの書き方、資料の集め方などの基本技能を学びます。

短大の学生育て

幼児教育学科 志村真教授

短大の2年間は短いようですが、取得する単位数は大学の3年間に匹敵します。中部学院は人間が育つキャンパスであり、教員と学生がいさつを交わし合い、ゼミナールに所属する学生の人ひとりに心を傾けながら、月に2回の学科会議で学生への動向を共有します。幼児教育学科は、地域で輝く保育者になることを目指し、就職率は10年連続100%を達成しました。五

保護者の皆さんへ

大学の教育方針やキャリア形成支援について、保護者と情報を共有するため、毎年保護者懇談会を開催しています。

感を活用できる保育者としての基礎力をつけ、乳幼児保育、障がい児保育、子ども家庭支援コースで学びます。

社会福祉学科は、学生の「持てる力」を広い「介護の学び」で伸ばすことにより、就職率は9年連続100%を達成しました。学生の個性や得意なことを、地域の実践活動、表現活動の授業、介護福祉士にプラスする資格取得、ボランティア活動、サークル活動で伸ばします。

キャリア形成は、卒業後の仕事について考える機会をできるだけ早くから考えてもらう取り組みです。キャリア支援センター 鬼頭靖尚室長から、就職活動の最近の動きの説明の後、学内仕事相談会 福祉施設・保育施設など、飛騨地区「福祉・幼児教育の仕事相談会」、キャリア支援ガイダンス、キャリア支援科目「仕事

と人生」、文章力アップ特別講座、公務員対策講座など多様できめ細かな支援内容について紹介しました。後援会総会に続き、保護者懇談会に移り、「体験講義 講座」で授業を体験していただきました。

保護者懇談会

体験講義 講座 大学の授業を体験

「体験講座 講義」は、5講座を開催し、168名の保護者が興味のあるテーマを選んで受講しました。

「ハツラツ生活のエッセンス〜リラクセーション・マッサージ」や、毎週月・木曜日にはチャペルアワーを行うグレースホールでの「チャペル体験とパイプオルガンミニ・コンサート」などに多くの方々にご参加いただきました。

学生食堂での昼食のあと、午後は関キャンパスと各務原キャンパスに分かれ、「学科別説明会」「個人懇談会」を開催しました。

体験講座・講義のテーマと講師の先生方

- ふくしど教育～地域福祉の視点から～
人間福祉学部 教授 飯野 真
- わが子を一流スポーツ選手にする5つの方法
子ども学部 准教授 竹ノ下祐二
- 健康で長生きした心臓
リハビリテーション学部 教授 正村静子
- ハツラツ生活のエッセンス!〜リラクセーション・ケアマッサージ〜
社会福祉学科 准教授 横山さつき
- チャペル体験とパイプオルガン ミニ・コンサート
宗教総主事 幼児教育学科 教授 志村 真
オルガニスト 幼児教育学科 准教授 杉山祐子



ハツラツ生活のエッセンス! 受講する保護者の皆さん

学科別説明会

学科の教育内容を知る

学科別説明会には195名の保護者に参加いただきました。単位取得、キャリア支援、実習支援、就職率・就職先、学科の教育の特色など、お子様から直接聞くことのできる、大学教育の内容について知ることができたとの感想をいただきました。

個人懇談会

ゼミ教員から近況を

個別懇談会には145名の保護者に参加いただきました。ゼミ担当教員

が成績表(1年生は履修表)、出席状況一覧表や、大学での授業や学生生活の様子を説明して、保護者からの質問にお答えしました。保護者からは就職場所、就職先などについて具体的な質問をいただいたこともありました。地区別保護者懇談会は、昨年までの平日開催を改め、土曜日に開催したことで、昨年の33名を上回る延べ60名の保護者の皆様に参加いただきました。7月14日松本会場19名、21日高山会場27名、行いました。

地区別保護者懇談会

松本・高山・静岡で開催

28日静岡会場14名に参加いただきました。大学、短期大学の教員より中部学院の学生育てについて、キャリア支援センターよりキャリア形成支援について紹介のあと、個別懇談を行いました。

【学生数・出身地・下宿 状況】

2012年5月1日現在

大 学				
学 生 数	学 部	性 別		計
		男	女	
	人間福祉	317	211	528
	子ども	92	212	304
	リハビリ	178	77	255
	経 営	217	62	279
	合 計	804	562	1366

出 身 地	性 別		合 計
	男	女	
岐阜	833	61.0%	
愛知	169	12.4%	
三重	27	2.0%	
静岡	42	3.1%	
北海道・東北	6	0.4%	
関東・甲信越	72	5.3%	
北陸	36	2.6%	
近畿	41	3.0%	
中国・四国	23	1.7%	
九州・沖縄	12	0.9%	
海外(中国など)	105	7.7%	

下 宿 状 況	性 別		合 計
	男	女	
学生数	804	562	1366
自宅生	471	374	845
下宿生	333	188	521
下宿率%	41.4%	33.5%	38.1%

短期大学部

学 生 数	学 科	性 別		計
		男	女	
	社会福祉	42	104	146
	幼児教育	10	196	206
	専攻科	1	14	15
	合 計	53	314	367

出 身 地	性 別		合 計
	男	女	
岐阜	325	88.6%	
愛知	17	4.6%	
三重	4	1.1%	
関東・甲信越	14	3.8%	
北陸	5	1.4%	
近畿	2	0.5%	

下 宿 状 況	性 別		合 計
	男	女	
学生数	53	314	367
自宅生	40	256	296
下宿生	13	58	71
下宿率%	24.5%	18.5%	19.3%

講演会

各務原シティカレッジ、公開講座や特別講演などでは、国内外で活躍する先生を講師に招いています。

ブータン王立大学 ペマ・ティンレイ副学長が講演

子ども学部子ども学科

自分自身を見つめ直すことが大切

9月28日、ブータン王立大学からペマ・ティンレイ副学長ら4人が来学。「幸福な国ブータンの教育」と題して特別講演を行いました。今回の訪問は、本学客員教授で京都大学霊長類研究所の松沢哲郎教授らが取り組む「京都大学ブータン友好プログラム」に合わせて実現しました。ブータンは国民総幸福量(GNH)を重視していますが、ティンレイ副学長は「物質的に豊かになればなるほど幸せというわけではない」と強調し、「静かに自分自身を見つめ直すことが大切」と話されました。



建築家 安藤忠雄さんが講演

第3回各務原シティカレッジ特別講演会

「夢は自分でつかむもの」

中部学院大学各務原シティカレッジの第3回特別講演会を8月25日、各務原市産業文化センターで開催。世界的建築家の安藤忠雄さんが「夢かけて走れ」と題して講演しました。安藤さんは「道を切り開いていくためには自ら考え行動することが重要」と話され、「何歳になっても夢を持ち続けることが大切」と強調されました。各務原市など地方都市の活性化については「目が輝いている人がいれば魅力的な街になる。自分たちが次の時代を考えてつくりあげてほしい」とエールを送りました。



現代産業研究 ～第一線で活躍するリーダーから学ぶ～

経営学部/各務原シティカレッジ

各界のトップが豊かな人生体験を語る

経営学部、各務原シティカレッジの公開講座「現代産業研究」を8回シリーズ(5-7月)で開催しました。社会が激変する中で、地域経済社会の活性化に取り組みながら、第一線で活躍している各界のリーダー8人が演台に立ち、現状の課題と戦略、リーダーの考え方や豊かな人生体験を学びました。

【2012年度講師】(順不同。肩書きは講演当時のもの)

宗次 徳二氏(株岩番屋 創業者特別顧問)	水野 辰博氏(株水野鉄工所 代表取締役社長)
赤松 正行氏(情報科学芸術大学院大学 教授)	貞子氏(株ライズアイランド 代表取締役社長)
尾関 健治氏(関市長)	神尾 隆氏(東和不動産相談役、トヨタ自動車(株)顧問)
古田菜穂子氏(岐阜県観光交流局長)	星野 鉄夫氏(各務原商工会議所 会頭)



トピックス

各学科では、さまざまな研修や交流活動を展開しているほか、地域に溶け込んだ活動を繰り広げています。

「ふくし塾」「福祉と介護の仕事相談室」岐阜市にオープン 福祉や介護の相談、セミナーを開催

福祉や介護の分野について、セミナーを開催したり、進学、資格取得、就職をはじめ、一般的な相談ができたりする「中部学院大学・同短期大学部神田町サロン(通称:神田町サロン)」を、10月12日、岐阜市に開設しました。岐阜県福祉・介護人材確保対策事業の取り組みの一環です。大学は「ふくし塾」、短期大学部は「福祉と介護の仕事相談室」を開設。社会人や離職者も含めて、福祉や介護分野を身近に感じてもらい、同分野への進学、就職につなげることがねらい。また、神田町サロンには週2日ほど相談員が常駐し、相談に応じます。



七夕トレイン出発進行! 列車内で学生が工作教室や絵本の読み聞かせ

七夕を控えた7月1日、長良川鉄道と短期大学部幼児教育学科が企画した「NAGARAあそびスター七夕TRAIN」が運行され、学生と親子が楽しい時間を過ごしました。地域連携の一環として行われ、美濃太田駅から北濃駅を折り返しました。車内では、保育士などを目指している学生が地域の子どもたちと七夕飾りを作ったり、折り紙や切り絵、塗り絵などのあそびを体験したり、読み聞かせをするなど、あそびの楽しさを伝え、交流を深めました。もみじTRAIN(11月18日)、サンタTRAIN(12月16日)、雪だるまTRAIN(2月)を予定しています。



経営学部/各務原シティカレッジ「会計プロフェッショナルコース」 全国大学対抗簿記 団体1級、2級で優勝

経営学部と各務原シティカレッジの会計プロフェッショナルコースの学生が、6月2日に開かれた簿記のインカレ「2012年春季全国大学対抗簿記大会」に出場し、団体戦1級、同2級、個人戦1級、同2級で優勝を果たしました。団体1級、2級はともに4季ぶり4度目の優勝です。



短期大学部の学生や教員12名 フィリピン・ミンダナオ国際大学を訪問、交流を深める

8月20日から5日間、友好交流協定を結んでいるフィリピンのミンダナオ国際大学に、学生と教員計12人が訪れました。介護技術演習や日本語クラスの見学、老人ホームの訪問や子どもと交流をしました。また社会福祉学科の教員有志から介護授業用のベッドが贈呈されました。





ぎふ清流国体に出場した(左から)陸上競技の大和千秋選手、バスケットボール成年女子の茅谷由希子選手、サッカー女子の周防まい子選手、松尾知奈美選手

ぎふ清流国体で選手ら躍動 女子サッカー初出場3位の大躍進

9月29日から11日間に行われ、岐阜県内で開催された「ぎふ清流国体」。本学から陸上競技1000000歩、大和千秋選手(子ども学部子ども学科4年)、バスケットボール成年女子の茅谷由希子選手(人間福祉学部健康福祉学科3年)、サッカー女子の周防まい子選手(人間福祉学部健康福祉学科3年)、松尾知奈美選手(リハビリテーション学部理学療法学科1年)が出場。また、本学男子バスケットボール部の福手登成監督がバスケットボール成年男子コーチとして、女子サッカー部の高橋悦郎監督がサッカー女子監督として指揮を執りました。

長野・須坂園芸高校出身)の茅谷由希子選手(人間福祉学部健康福祉学科3年)、滋賀・八幡商業高校出身)の松尾知奈美選手(リハビリテーション学部理学療法学科1年)、福井・福井工業大学附属福井高校出身)の4人が選手として出場。また、本学男子バスケットボール部の福手登成監督がバスケットボール成年男子コーチとして、女子サッカー部の高橋悦郎監督がサッカー女子監督として指揮を執りました。

そのうち、バスケットボール成年男子は優勝。サッカー女子は3位に入り、県女子サッカー界に新たな歴史を刻みました。バスケットボール成年女子は、ユニバーシアード大会日本代表



サッカー女子で3位入賞を果たした岐阜県チームより

【出場選手】
陸上競技10000m競歩
大和千秋 選手(子ども学部子ども学科4年)
バスケットボール成年女子
茅谷由希子 選手(人間福祉学部健康福祉学科3年)
サッカー女子
周防まい子 選手(人間福祉学部健康福祉学科3年)
松尾知奈美 選手(リハビリテーション学部理学療法学科1年)
【監督・コーチ】
バスケットボール成年男子コーチ/福手登成監督(学生課)
サッカー女子監督/高橋悦郎監督(総務課)

今後の予定

第21回中部手話スピーチコンテスト(※)

- 11月17日(土) 13:00~16:30
- 本学各務原キャンパス

中部学院大学 中部学院大学短期大学部 プロムナードコンサート2012(※) ~おんがくのメリーゴーランド~

- 11月24日(土) 14:00 開場 14:30 開演
- 関市文化会館 大ホール

クリスマスツリー点灯式

- 12月3日(月) 17:00
- 本学関キャンパス

クリスマス礼拝・祝会

- 12月20日(木)
- 本学関キャンパス

クリスマス会

- 12月21日(金)
- 本学各務原キャンパス

中部学院大学吹奏楽部 第12回 定期演奏会(※)

- 12月23日(日) 13:30 開場 14:00 開演
- 関市文化会館 大ホール(入場料300円)

資格証書等授与式・卒業礼拝

- 3月21日(木) 10:00
- 本学関キャンパス

卒業式(※)

- 3月22日(金) 9:30 開場 10:00 学位記・修了証書授与式
- 長良川国際会議場 メインホール

(※)・・・保護者の方も参加していただけます。

部・クラブ・サークル紹介

今年度、課外活動で成果を上げた部・クラブ・サークルを順次紹介します。



岐阜県吹奏楽コンクールでの演奏=羽島市、市文化センター

岐阜県吹奏楽コンクールで金賞受賞



第50回岐阜県吹奏楽コンクールが8月5日、羽島市文化センターで行われ、大学の部で本学吹奏楽部は初の金賞に輝き、東海大会への出場権を獲得しました。

岐阜県吹奏楽コンクールには、本学吹奏楽部、岐阜工業高等専門学校吹奏楽部、岐阜聖徳学園大学ウインドアンサンブルが出場。本学は課題曲「さくら」のうた、自由曲は「バレエ音楽『審問』より」を演奏しました。53名の部員は常任指揮者である安藤繁秋先生の指揮のもと、安定感のある演奏を披露。27年連続金賞の岐阜聖徳学園大学を抑えて初めての金賞を受賞しました。

また、姉妹県の鹿兒島吹奏楽連盟が選ぶ「きらめき賞」には、ホルンの伊藤友

耶さん(人間福祉学部1年、羽島北高校出身)が選ばれました。

東海吹奏楽コンクールに初出場。銀賞受賞

東海吹奏楽コンクールに岐阜県代表として初出場しました。9月9日に羽島市文化センターで開催された第67回東海吹奏楽コンクールには、本学と名古屋商科大学(愛知)、愛知教育大学(同)、三重大学(三重)、静岡県立大学(静岡)、信州大学(長野)の6大学が各県代表校として出場し、本学は初出場ながら堂々とした演奏で、銀賞を受賞しました。

演奏する喜びを、聴いてもらえる喜びを

私たちは、吹奏楽という音楽を地域の皆さんに届けたいと思っています。幼稚園、保育園、小学校、福祉施設、地域のイベントなど、地元で多くの演奏を行っています。私たちが活動できるの



特別養護老人ホームの敬老会で懐かしい曲を演奏する部員

は、地域の皆さま、保護者の皆さま、教職員の皆さまのおかげです。感謝の気持ちを忘れず、少しでも恩返しができるようにしています。演奏内容は、聴いていただく方々に喜んでいただけるよう、年齢や季節、流行を念頭に置きながら、クラシックにとどまらず、童謡、演歌、アニメソングまで幅広く選曲します。これからもより多くの方に私たちの音楽をお届けしたいと思っています。12月23日には関市文化会館で定期演奏会を開催します。心に響く演奏ができるよう、これからも練習に励みます。(吹奏楽部顧問 平野孝明)



中部学院大学 大学院 / 大学 / 短期大学部

Chubu Gakuin University & College

[関 キャンパス] 〒501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘二丁目1番地 TEL 0575-24-2211
[各務原キャンパス] 〒504-0837 岐阜県各務原市那加甥田町30-1 TEL 058-375-3600

[大 学 院] ◆人間福祉学研究科 修士課程 博士課程後期
[大 学] ◆人間福祉学部 人間福祉学科(福祉専攻/心理専攻) 健康福祉学科(スポーツ専攻/マネジメント専攻)
◆リハビリテーション学部理学療法学科 ◆子ども学部 子ども学科(子ども教育コース/保育・子育て支援コース/発達支援コース) ◆経営学部 経営学科(マネジメントコース/まちづくり地域人養成コース/スポーツマネジメントコース/職業会計人コース) ◆通信教育部/人間福祉学部 人間福祉学科
[短期大学部] ◆幼児教育学科(乳幼児保育コース/障がい児保育コース/子ども家庭支援コース) ◆社会福祉学科(認知症ケアコース/介護予防コース/地域生活支援コース) ◆専攻科(福祉専攻)

※コースは変更する場合あり